

# エストuary

# Estuary 033

～いしかり砂丘の風資料館だより～

## 展示資料のひみつ

リターンズ

アオイガイ、別名カイダコ。卵を産んで孵化させるため、メスは白く薄い殻を作ります。本来は温帯や熱帯地方の暖かい海を漂って生活しています。

北九州や山陰地方など西日本の日本海側では、昔からこのアオイガイが海岸に大量に漂着することがあるのですが、北海道で見つかることは稀でした。しかし2005年秋、石狩浜を始めとする道内各地で数多くの漂着アオイガイが発見されました。それ以降、少なくとも3年連続で、秋になると多くの漂着が確認されています。

資料館で実物に立ちあってみよう！  
ペラペラに薄くて軽い！！

### ■アオイガイ (カイダコ)

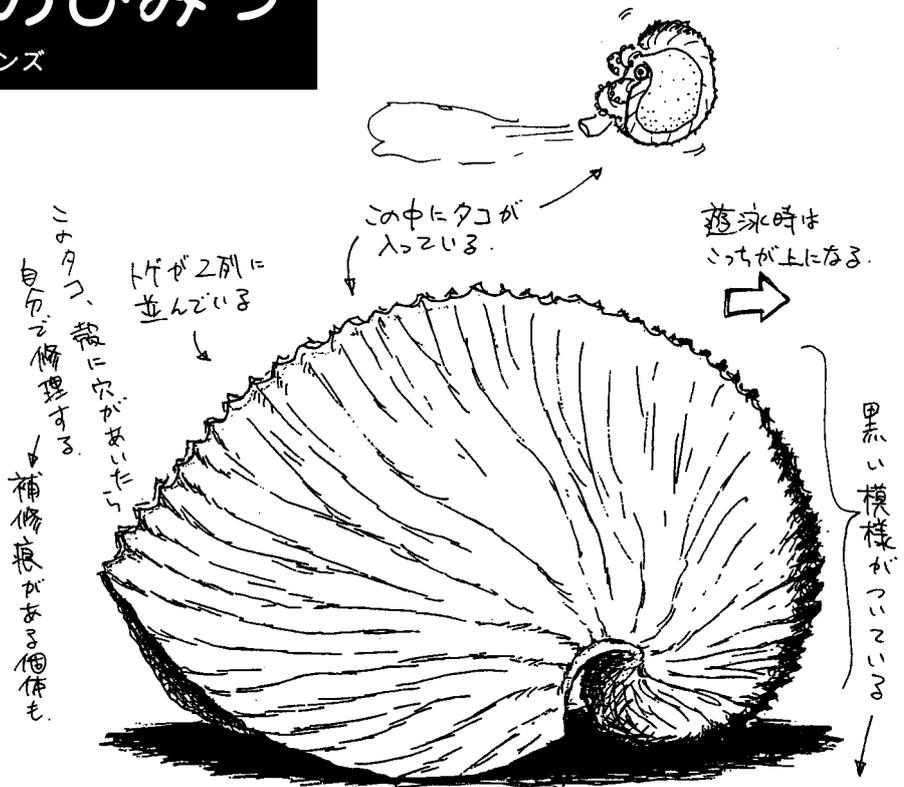
*Argonauta argo* Linnaeus, 1758

八腕形目アオイガイ科

採集日 2006年秋

採集地 北海道石狩市石狩浜

殻長 3.6cm～17.6cm



「アオイガイ・ハンター」と呼ばれている。

遊泳時、上から見ると目立たない。

**WANTED!!!**

アオイガイ情報求人!

展示している標本はほとんどが調査ボランティアの伊藤利孝さんが採集したものだ。

今年も資料館では漂着アオイガイの調査を継続しています。もし海岸でアオイガイを見つけたら、発見日、発見場所、殻の全長などの情報を知らせてください！ ◆

(志賀健司 しがけんじ)

# 学びの一日

移築復原工事を終え、昨年4月から公開が始まった旧長野商店は、店舗部分が明治27年建築、石蔵は明治10年代のものといわれています。

この間、小学校の社会科見学で訪れた児童の皆さんに、この旧長野商店について急遽解説することになりました。見所も伝え所もたくさんありますし、限られた時間の中、私の力量でなにをどうしたらよいのやら。突然のことに頭も心臓も爆発寸前になりながら、学芸員のKさんに教わった“昔と現在ではお店での買い物のしかたが違うこと”、手で切り出した札幌軟石が使われている外壁と、ともすれば見落とされがちな外壁に刻まれた目(カクニ)の屋号のことを話そうと決めました。屋号の^ (ヤマ) やx (シメ) などが各々意味を持つことを、私は今春発行された「いしかり暦 第21号」(石狩市郷土研究会)で初めて知ったからです。縁起の良い記号と漢字や仮名文字が組み合わせられている、何だか昔の人の暮らしにかけの願いにふれた気がしました。どこかのテーマパークの“かくれ〇〇〇ー探し”ではありませんが、屋号を見つけて意味を知る、古い建物を目にしたときの楽しみ方が増えるのでは、とも考えました。

でも、いざその場に立つと…

独りよがりにならずに児童の皆さんにわかりやすい言葉で説明する難しさを学んだ、貴重な一日となりました。

(倉 雅子 くらまさこ)



## 見せる骨 山本のおもいつきノート②

現在、資料館ではテーマ展『「手」～骨にみる動物の生態～』を開催中です。私たちの手が、にぎったり、はじいたり、ちぎったりといった複雑な動きができるのはなぜでしょうか？ 他の動物たちは一体どんなふうに使っているのでしょうか？ そんな疑問から身近な動物たちの手の中をのぞいてみることにしました。

資料館のある石狩浜付近は石狩川の終着点であり、また、石狩湾の奥まった部分という地形からも、漂着物が打ち上がりやすい場所です。漂着する中にはイルカやアザラシといった海獣類、カモメやカラスなど

の鳥類も紛れていることがあります。今回の展示では、これら打ち上がった動物たちの「手」を解剖、除肉処理をして骨格標本としたものを公開しています。

展示ケースに並んでいるものはみなきれいな状態になっていますが、その過程には様々な格闘がありました。虫の発生や人の視線など、思い出せばきりがありません。その様子も交えながらの楽しい展示を作ってみました。私たちの手の不思議を体験しに、ぜひご来館ください。

(山本佳奈 やまもとかな)

※この展示は11月3日まで開催しています。

「こんなデカいの見つけた！」

漂着物好きのSさんが大興奮して持ってきたのが、この巨大ガラス浮き。直径は44cm！

アメリカ製で、ラベルには水深6100mまで保証することが書いてありました。漁業用ではなく、海洋観測機器の一部のようです。資料館で展示しています。(志賀健司)

# 10月～12月の講座・展示

11月  
開講

連続講座

## 石狩大学博物館

石狩って、どんなところ？

その答えを、砂丘の風資料館の3人の学芸員が、基本から最新トピックまで、写真や図を使ってわかりやすく解説します。

1回だけの受講もOK。2回以上受講した方には修了証を発行いたします。

みんないっしょに、イチからイシカリ！

※道民カレッジ連携講座（ほっかいどう学）

※石狩・学びのスタンプ対象講座

- ①11/8（土） 石狩歴史学（工藤義衛）  
江戸時代から現在までの石狩の歴史は？
- ②11/15（土） 石狩考古学（石橋孝夫）  
石狩にはどんな遺跡がある？
- ③11/22（土） 石狩地球科学（志賀健司）  
石狩の大地や海はどうなっている？

- 時間 13:00～15:00（3回とも）
- 場所 石狩市民図書館 視聴覚ホール  
（石狩市花川北7条1丁目）
- 対象 高校生～大人
- 定員 各回40人（先着順）
- 費用 無料
- 申込 10月8日（水）から3回分すべて受付。  
電話で資料館（0133-62-3711）へ

テーマ展

## 資料館のお宝展（仮題）

昔の道具でも、海辺で拾った貝殻でも、資料館にとっては未来に残す大切なお宝！

この1年間にみなさんからいただいた資料や、採集した標本などを展示します。

- 期間 12月～2009年3月
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- ※資料館の入館料（大人300円、中学生以下無料）が必要です。

12月  
開始

テーマ展

## 「手」～骨にみる動物の生態～

手の骨から、いろいろな動物の生活が見える！  
ヒグマの手、ネズミの手、コウモリの翼、アザラシやイルカの胸びれ…。

同じ「手」の骨でも、似ているところ、まったく違うところがたくさんあります。

動物の生活と骨の形、さらにヒトの手との関係を考えてみます。

- 期間 8月23日（土）～11月3日（月・祝）  
（火曜休館）

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料（大人300円、中学生以下無料）が必要です。

開催  
中！

野外講座

## 石狩ビーチコーマーズ／秋

漂着物は海からの手紙。

秋は、暖流が南の海から運んできた漂着物がたくさん見られます。石狩浜の漂着物を観察、採集して、その正体や起源をみんなで考えます。

アオイガイやルリガイが見つかるかも！

- 日時 10月19日（日）09:00～13:00
- 場所 砂丘の風資料館～石狩浜  
（砂浜を3km歩きます）
- 対象 小学4年生～大人  
（小学生は保護者同伴で）
- 定員 20人（先着順）
- 持ち物 長靴、手袋、帽子、防寒着、ビニール袋など
- 費用 無料
- 申込 10/4（土）～10/17（金）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

10月  
開催

## 紅葉山52号遺跡・ K483遺跡の発掘

この夏、7月、8月に43日間かけて発掘した紅葉山52号遺跡・K483遺跡は中世の遺跡でした。両遺跡は石狩市花川南5条通りと札幌市屯田3番線の接点にあります。当初遺跡は江戸時代つまり近世の遺跡と考えていましたが、年代測定の結果、16世紀末で中世末期にあたるということが分かりました。

ご承知かと思いますが、北海道では旧石器時代から奈良平安時代に当たる擦文時代までは多数の遺跡が発掘されていますが、それ以降、江戸時代末までの遺跡の調査は大変少なく、当時の様子はほとんど分かっていません。この期間は先住のアイヌ民族の文化伝統が確立した時代といわれ、同時に松前藩を始め和人が進出した時代です。石狩市付近が記録に登場するのは17世紀初頭で、これ以前の記録はほとんどありませんから、今回の発掘調査はまさに画期的なものです。もちろん当時、石狩地方には和人の進出がほとんど無かったと考えられますから、遺跡は石狩アイヌの残したものと考えられます。

発掘は200平方メートルに満たないごく狭い範囲で行われましたが、埋没した発寒川旧河道から多数の木製品が検出されました。とくに200本近くの木杭は川底に打ち込まれた状態で出土しました。また一部では杭と杭の間にかける柵（しがらみ）も残っていました。さらに付



近から木柄の付いた鉄製の鉤（かぎ）を含む5点の鉤も出土しました。こうした点から、この遺跡はサケ・マス漁の跡だと考えることができます。アイヌ民族のサケ・マス漁についてはこれまでも文献や聞き取りなどが行われていますが、実物が残っておらず、具体的な研究が行われておりません。ですから今回の発掘で検出された漁の跡は大変貴重なものです。◆

（石橋孝夫 いしばしたかお）

※この遺跡は石狩市と札幌市との境界にあります。1つの遺跡ですが、石狩市部分を紅葉山52号遺跡、札幌市部分をK483遺跡、と呼んでいます。

### ■最近の「いしかり博物誌」（石狩市広報に連載中）

☞第96回：イルカの手（08年9月号）

☞第97回：中世のサケ漁遺跡（08年11月号）

### 編集後記

イルカも人間と同じように、5本の指がある！ イルカの胸ビレの肉を剥いだ時、驚きました。指だけでなく、腕の骨の構成もまったく同じ。もちろん知識としては知っていましたが、実物を見ると驚きは全然違います。ダーウィンの業績はよく知らなくても、「イルカ・クジラと人間の祖先は共通」ということが実感できます。テーマ展「手」、観てください。（け）

### いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分  
 休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始  
 入館料 300円（中学生以下は無料）、  
 団体料金240円（15名以上）  
 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、  
 「石狩温泉」下車、徒歩1分  
 （石狩温泉「番屋の宿」向かい）

## エスチユアリ No.33

2008年10月17日 発行

いしかり砂丘の風資料館  
 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4  
 TEL/FAX: 0133-62-3711  
 bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp  
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>